

○オゾンによる消臭

オゾンによる消臭とは、オゾンによる臭気性物質の酸化分解と、オゾンの悪臭成分との中和作用により、感応の効果を期待する方式です。つまり、化学反応によって悪臭物質を異なる物質へと変化させることにより悪臭を発生させなくするのです。

悪臭成分の多くはオゾンと反応しやすい構造を持っているため、消臭に有効利用されています。

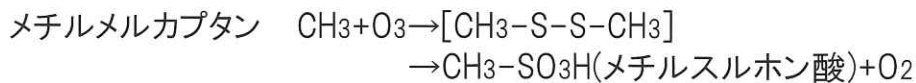
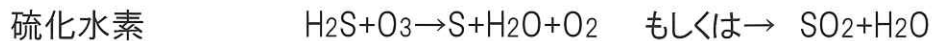
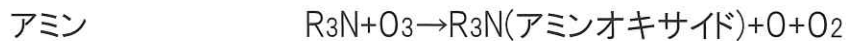
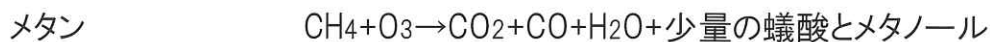
臭気は有機性汚染物質が腐敗分解する際に、硫化水素、アンモニア、メチルメルカプタン類、ジメチルサルファイド、アミン類、酸類及びインドール、スカトールなどの混合気体です。

特に硫化水素は浸透性が強く、硫化水素を抑えることは、悪臭のほとんどを抑えることと同様であると言われています。

また、メチルメルカプタンは極めて強烈な悪臭で、少量でも問題になります。

下記の化学反応式から、主要な悪臭成分がオゾンによって分解されているのがわかります。

悪臭成分とオゾンの化学反応式



※参考文献：新版オゾン利用の新技术

